

令和 7 年 7 月 15 日
個人情報保護委員会事務局

「特定個人情報保護評価指針の解説」の更新について

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（平成 25 年法律第 27 号）第 27 条の規定に基づき、特定個人情報保護評価指針（平成 26 年特定個人情報保護委員会告示第 4 号）を改正しました。改正の趣旨及び概要並びに改正内容は次の URL に掲載のとおりです。

- ・ 改正の趣旨及び概要（第 321 回個人情報保護委員会資料）：
https://www.ppc.go.jp/files/pdf/250430_shiryou-2-1.pdf
- ・ 改正内容（第 326 回個人情報保護委員会資料）：
https://www.ppc.go.jp/files/pdf/250625_shiryou-2-2.pdf

また、この改正に伴い、特定個人情報保護評価指針の解説を更新しました。主な更新箇所は、下記のとおりです。

記

特定個人情報保護評価指針の解説の主な更新箇所

<プロセスの変更時の検討関係>

第 5 の 5 （ 1 ）

新規

評価対象事務の事務フローの変更は大きいものから小さいものまで頻回に行われます。具体的にどのような変更が特定個人情報を取り扱うプロセスに変更を加えるものと考えればよいでしょうか。

＜プロセスの変更時の検討関係＞

新規

5 特定個人情報ファイルを取り扱うプロセスの変更時の検討

評価実施機関は、特定個人情報ファイルを取り扱うプロセスに変更を加えようとする場合、当該変更の内容を踏まえ、特定個人情報の漏えいその他の事態を発生させるリスクを軽減するための措置の変更の必要性の有無について検討を行うものとする。評価実施機関は、当該検討の結果を踏まえ必要があると認めるときは、第6の2（2）の規定による特定個人情報保護評価の再実施又は第7の規定による特定個人情報保護評価書の修正並びに委員会への提出及び公表を行うものとする。

（解説）

評価実施機関が、事務フローの変更などにより特定個人情報ファイルを取り扱うプロセスに変更を加えようとする場合には、当該変更により漏えい等のリスクを軽減するための措置の変更・追加が必要な「重要な変更」に該当する変更が生じるかどうかを検討してください。

具体的には、事務フローの変更があった場合、事務処理手順のマニュアルの変更のみならず、①当該変更が、特定個人情報のデータとしてのライフサイクル（「入手」、「使用」、「委託」、「提供・移転」、「保管・消去」）の各段階において特定個人情報の漏えい・滅失・毀損のリスクを上昇させる可能性があるかどうか、②この可能性がある場合にはそれに対応するためにどのようなリスク対策を実施するのか、を検討する必要があります。

なお、当該検討の結果、当該変更が「重要な変更」に当たると判断される場合には、変更を行う前に特定個人情報保護評価を再実施することが義務付けられます。また、「重要な変更」に該当しない変更により評価書の記載内容に変更が必要であると判断される場合は、既に公表している特定個人情報保護評価書を修正する必要があります。

漏えい等事案の中には、事務フローの変更に伴い漏えい等のリスクが上昇することを事務の担当者が予測していたにもかかわらず組織的な検討が適時・適切に行われず、個人情報の漏えい等の被害拡大につながった事例も発生していることから、担当者任せにせず、組織的な検討が行われることが重要です。

Q第5の5－1

評価対象事務の事務フローの変更は大きいものから小さいものまで頻回に行われます。具体的にどのような変更が特定個人情報を取り扱うプロセスに変更を加えるものと考えればよいでしょうか。

(A)

- 特定個人情報保護評価は、特定個人情報のデータとしてのライフサイクルごとにその取扱い方法やリスク対策を検討する構造になっています。特に留意が必要なリスクについては、全項目評価書の「Ⅲ 特定個人情報ファイルの取扱いプロセスにおけるリスク対策」に列記されているため、事務フローの変更があった際に、データの流れに沿ってこれらのリスクが変動しないかなどを検討することが有用です。
- 特定個人情報ファイルを取り扱うプロセスに変更を加えると考えられる事務フローの変更内容やリスク対策の例については、Q第6の2（2）－1の内容も参考にしてください。
- なお、情報システムを用いた内部連携等により特定個人情報の入手や提供を行う場合、事務フローの変更に伴って予期しないエラーが発生することもあるため、特定個人情報保護評価の実施又は再実施のタイミングのみならず、情報システムの改修等のテスト段階においても、特定個人情報保護評価で洗い出した観点等も参考に事務フローの変更の要点を押さえたテスト項目を計画し、想定どおりの挙動となっているかどうか、最終的なデータの内容を確認することも重要です。